

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院腎センター内科及び虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたるとされる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 当院で 1985 年から 2019 年の間に血液透析導入を行った方を対象とします

【研究課題名】

当院における血液透析導入時期での高血圧の合併率と RAS 阻害薬の使用率の検討

【研究の目的・背景】

透析導入期は、患者の心血管リスクや予後を左右する重要な時期であり、高血圧の適切な管理は臨床的にもきわめて意義が大きいです。しかしながら、ARB などの RAS 阻害薬がどのような背景要因をもとに選択され、実臨床でどの程度活用されているのかについては、未だ十分に解明されていない部分が多いです。本研究では、透析導入期における高血圧の合併率と ARB 使用率を明らかにし、さらに ARB 使用の背景要因を検討することで、適切な高血圧管理の指針を提供するための基礎データを得ることを目的とします。

【研究期間】

2025 年 3 月 28 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院 澤直樹において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査結果、診療記録、薬歴など

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究機関の長：院長 門脇 孝

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：腎センター内科 澤直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)